

口唇口蓋裂児を出生した母親の母体環境に関する  
ケースコントロールスタディ  
(分担研究：先天異常モニタリングに関する研究)

夏目長門, 鈴木俊夫, 河合 幹※

要約：口唇口蓋裂発生には、遺伝的要因の他に母体環境が大きく関与していることが知られており、我々もこれまでに種々の疫学調査を行って来た。その一つとして一定期間に出生した口唇口蓋裂の患者の母親と同一地域で同時期に健常児を出生した母親を対照例にいくつかの項目について症例対照研究を行った。緑黄色野菜の嗜好、乳製品の嗜好、それらと喫煙の習慣との関連はすでに報告したとおりであり、口唇口蓋裂児出生の危険因子となりうる可能性を示唆したが、今回は他の項目についてその結果を報告する。

見出し語：口唇・口蓋裂, 母体環境, 症例対照研究

研究方法：一定期間に出生した口唇口蓋裂の患者の母親306名と同一地域で同じ時期に出産した母親306名に同様な調査を行なった。症例は愛知学院大学歯学部口腔外科に未手術の状態を受診した口唇口蓋裂患者の母親を、また、対照は名古屋市の協力の元に名古屋市内の5保健所(守山・千種・名東・港区保健所)に3カ月検診に訪れた母親のうち協力を得られた母親の中より症例と可及的にマッチングしたものを選択した。その調査の項目は下記の通りである。

◆子供について

- 1) 性別
- 2) 生年月日
- 3) 出生時の体重
- 4) 何番目の子供
- 5) 何週目で出産
- 6) 先天的な病

気の有無、その種類

◆母親について

- 1) 出産時の年齢
- 2) 妊娠前の体重
- 3) 身長
- 4) 血液型
- 5) 妊娠初期の仕事の内容
- 6) 妊娠に気づいた時期
- 7) 妊娠して生活習慣を変えたか
- 8) 生活習慣をかえた時期
- 9) 家族や職場の協力度
- 10) 妊娠初期にかかった病気
- 11) 妊娠初期に飲んだ薬
- 12) アルコール飲用歴、量
- 13) コーヒー飲用歴、量
- 14) 生活が規則的か否か
- 15) 緑黄色野菜の飲食頻度
- 16) 野菜の嗜好
- 17) 油料理の嗜好
- 18) 料理の味付けの嗜好
- 19) 週に5回以上食べる食物
- 20) たばこの飲用歴、量

※愛知学院大学歯学部口腔外科学第2講座

◆父親について

1) 配偶者のたばこの飲用歴、量 2) 配偶者の酒の飲用歴、量

◆その他

1) 血族結婚か否か 2) 親族内の口唇口蓋裂の有無  
結果

口唇口蓋裂児を出生した母親（以下ケースと呼ぶ）と健常児を出生した母親（以下コントロールと呼ぶ）との年齢、体型、職業、血液型についてのマッチング状態を別表に示す（表1～表4）。さらに出生した子供の性別、体重についてのマッチング状態を別表に示す（表5・6）。続いて各項目の結果を順に示す。

1) 患者の出生月は「1月」7.5%、「2月」7.5%、「3月」6.2%、「4月」8.5%、「5月」7.5%、「6月」8.5%、「7月」10.5%、「8月」10.1%、「9月」6.9%、「10月」9.5%、「11月」8.5%、「12月」8.5%であり、健常児の出生月は名古屋市内4カ所の保健所で3カ月検診の子供の母親に調査の協力を依頼したため、「2月」26.5%、「3月」24.5%、「4月」13.1%、「5月」4.2%、「8月」0.7%、「9月」19.3%、「10月」11.8%となった（表7）。なお、患者の出生月については全国の過去5年間の平均値と比較しても有意差はなかった。

2) 調査対象の子供が何番目の子供かについて患者は「1人目」43.1%、「2人目」37.9%、「3人目」16.4%、「4人目」2.0%、「5人目」0.3%、健常児は「1人目」53

.3%、「2人目」34.6%、「3人目」10.5%、「4人目」1.6%、「5人目」0%でケースとコントロールで有意差はなかった（表8）。

3) 妊娠何週で出産したかについてはケースは「36週以下」4.3%、「37～38週」21.9%、「39～40週」52.9%、「41週以上」17.0%、コントロールは「36週以下」2.9%、「37～38週」28.1%、「39～40週」55.9%、「41週以上」11.8%であり、有意差はなかった（表9）。

4) 先天的な病気の種類については患者306名の内訳は口唇裂男53名、女44名、口唇口蓋裂男82名、女57名、口蓋裂男22名、女48名であった（表10）。

5) 妊娠に気づいた時期についてはケースは「5～6週」48.7%、「7～8週」24.5%、「9～10週」16.7%、「11～12週」1.3%、「13～14週」2.0%、「15～16週」0%、「17週～」0%、コントロールは「5～6週」59.5%、「7～8週」23.5%、「9～10週」11.8%、「11～12週」1.3%、「13～14週」0.3%、「15～16週」1.0%、「17週～」0%であった（表11）。

6) 医師等の診断により妊娠が分かった時期についてはケースは「5～6週」28.2%、「7～8週」27.5%、「9～10週」26.1%、「11～12週」4.9%、「13～14週」5.2%、「15～16週」1.6%、「17週～」0%、コントロールは「5～6週」40.2%、「7～8週」31.7%、「9～10週」19.0%、「11～12週」4.9%、「13～14週」1.6%、「15～16週

」2.0%、「17週～」0%であった(表12)。

7) 妊娠して生活習慣を変えたかどうかについてはすべての回答者が変えたと答えた。その内容は食事内容、コーヒー、飲酒についてのものが多い(表13)。

8) その生活習慣を変えた時期についてはケースは「5～6週」17.0%、「7～8週」11.4%、「9～10週」19.0%、「11～12週」5.6%、「13～14週」5.6%、「15～16週」5.2%、「17週～」0%、コントロールは「5～6週」25.2%、「7～8週」19.3%、「9～10週」15.4%、「11～12週」7.2%、「13～14週」4.9%、「15～16週」10.1%、「17週～」0%であった(表14)。

9) 妊娠がわかって家族や職場は協力的であったかという質問についてはケースは「協力的だった」35.0%、「どちらかというとな協力的であった」39.5%、「あまり協力的でなかった」16.3%、「協力的でなかった」5.6%、コントロールは「協力的だった」54.0%、「どちらかというとな協力的であった」34.6%、「あまり協力的でなかった」8.8%、「協力的でなかった」1.6%であった(表15)。

10) 妊娠初期にかかった病気については「病気にかからなかった」と答えたのはケース67.0%、コントロール75.8%で、病気にかかったものの病名の内訳はケースの場合は「風邪」21.6%、「インフルエンザ」0.7%、「風疹」0%、「その他」9.5%、コントロールの場合は「風邪」19.6%、「インフルエンザ」0.3%、「風疹」0.3%、「その他」2.3%であ

った(表16)。

11) 妊娠初期に服用した薬については「服用しなかった」と答えたのはケース47.7%、コントロール64.7%であり、その服用した薬の種類とケースとコントロールのそれぞれの割合は「ビタミン剤」4.9%、3.6%、「かぜ薬」16.3%、12.4%、「ホルモン剤」2.0%、0.7%、「栄養剤」4.2%、0.7%、「胃腸薬」7.2%、6.5%、「鎮痛剤」4.2%、3.3%、「貧血の薬」5.9%、3.6%、「つわりの薬」6.2%、3.6%、「睡眠鎮静剤」0%、0.3%、「その他」15.7%、10.1%であった(表17)。

12) 飲酒の習慣については妊娠に気づく前から「ほとんど飲まなかった」と答えた母親が全体の71.1%を占め、ケース、コントロールそれぞれ「ほとんど飲まなかった」77.1%、65.1%、「週に1～2回飲んだ」13.1%、17.3%、「週に3～4回飲んだ」4.2%、8.8%、「週に5～6回飲んだ」2.6%、7.5%であった。さらに妊娠に気づいた後の飲酒習慣は「ほとんど飲まなかった」89.6%、85.3%、「週に1～2回飲んだ」6.5%、10.1%、「週に3～4回飲んだ」0.3%、2.3%、「週に5～6回飲んだ」0.7%、1.0%と全体的に減少した(表18・19)。

13) コーヒーの習慣については妊娠初期はケースとコントロールはそれぞれ「ほとんど飲まなかった」51.9%、42.8%、「週に1～2回飲んだ」41.2%、46.1%、「週に3～4回飲んだ」4.6%、7.8%、「週に5～6回飲んだ」1.0%、2.0%、妊娠に気づいた後は「

ほとんど飲まなかった」59.8%, 53.9%、「週に1~2回飲んだ」36.0%, 42.2%、「週に3~4回飲んだ」2.9%, 2.3%、「週に5~6回飲んだ」0%, 0.6%と妊娠の前後の回答にそれほど差がなく、特に妊娠に気づいてコーヒーをやめるという意識は顕著に現れていない(表20・21)。

14) 食事時間や睡眠時間など生活は規則的な方であったかという設問にはケースとコントロールそれぞれ「規則的」29.4%, 28.1%、「どちらかという規則的」53.3%, 53.6%、「どちらかという不規則」10.8%, 14.7%、「不規則」4.9%, 3.3%でほとんど両者に差はない(表22)。

15) 野菜の好き嫌いについてはケースとコントロールそれぞれ「好き」68.4%, 65.8%、「どちらかといえば好き」25.2%, 27.1%、「どちらかといえば嫌い」5.2%, 5.9%、「嫌い」0.6%, 0.6%でほとんど両者に差はない(表23)。

16) 油を使った料理の好き嫌いについてはケースとコントロールそれぞれ「好き」40.5%, 43.1%、「どちらかといえば好き」48.4%, 49.5%、「どちらかといえば嫌い」10.8%, 9.8%、「嫌い」0%, 0.3%でほとんど両者に差はない(表24)。

17) 料理の味付けの好みについてはケースとコントロールそれぞれ「薄味が好き」13.1%, 13.7%、「どちらかといえば薄味が好き」37.6%, 41.2%、「どちらかといえば濃い味が好き」44.4%, 42.2%、「濃い味が好き」4.6%, 2.9%でほとんど両者に差はな

い(表25)。

18) たばこの喫煙習慣について妊娠に気づく前にたばこを吸っていたかどうかの設問については全体の81.4%の母親が「吸っていなかった」と回答し、ケースとコントロールでそれぞれ「吸わなかった」85.0%, 77.8%、「吸っていた」14.0%, 21.6%であった。「吸っていた」母親の1日当たりの本数はケースとコントロールでそれぞれ「1~10本」67.4%, 36.4%、「11~20本」25.6%, 53.0%、「21~30本」4.7%, 7.6%、「31本~」2.3%, 1.5%であった。次に妊娠に気づいたあとの喫煙習慣についてはケースとコントロールで「吸っていた」53.5%, 37.9%、「吸わなかった」44.2%, 60.6%であった。「吸っていた」母親の1日当たりの本数はケースとコントロールでそれぞれ「1~10本」88.0%, 82.7%、「11~20本」12.0%, 4.3%、「21~30本」0%, 13.0%、「31本~」0%, 0%であった(表26~29)。

19) 配偶者の喫煙習慣については全体の67.2%が喫煙の習慣があり、ケースの配偶者とコントロールの配偶者でそれぞれ「たばこを吸う」68.6%, 65.7%、「たばこを吸わない」25.0%, 34.0%であり、たばこを吸う人の1日当たりの本数は「1~10本」17.1%, 16.9%、「11~20本」44.3%, 47.8%、「21~30本」23.3%, 15.4%、「31本~」10.5%, 14.4%であった(表30・31)。

20) 配偶者の飲酒の習慣についてはケースの配偶者とコントロールの配偶者でそれぞれ「ほとんど

飲まない」34.3%、24.5%、「週に1～2回飲む」15.4%、17.0%、「週に3～4回飲む」13.7%、10.8%、「週に5～6回飲む」35.6%、46.4%であった(表32)。

21) 血族結婚の有無については「はい」と回答したのがケースに306名中1名あった。その関係はいとこ以外であった。

22) 親族の中に口唇・口蓋裂の方がいるかどうかの設問ではケースとコントロールでは「はい」15.4%、1.6%、「いいえ」84.3%、97.7%であった(表32)。その内訳はケースで「父」3名、「母」4名、「兄弟」3名、「祖父」1名、「祖母」1名、「おじ」5名、「おば」1名、「いとこ」8名、「その他」19名等であった。コントロールでは「いとこ」3名等であった(表33)。

#### 考察

本調査においては可及的に症例と対照のマッチングを十分に行ったため、ほとんどの質問の結果において口唇口蓋裂児を出生した母親と健常児を出生した母親の間には著しい差が見られず、回答比率がほぼ同じという結果も少なくなかった。このことは取りも直さず、有意差がみられた項目についての危険因子となりうる可能性の大きさを示唆しているといえる。

妊娠初期に薬を服用したか否かの設問において「薬を飲まなかった」と答えた口唇口蓋裂児を出生した母親と健常児を出生した母親のあいだに47.7%、64.7%と有意差がみられ( $P < 0.01$ )、その服用薬の内訳からホルモン剤、栄養剤、つわりの薬などの回答人数に差がみられたが、

わずかなビタミン剤などは記憶していないことも考えられる。いずれにしても有意差を論じるには該当するサンプル数が足りない。しかし、従来より口蓋裂は動物実験において種々の薬剤で特異的に出現率が上昇することが知られており、動物実験を交えてのさらなる研究、調査を行っていきいたいと考えている。

また、妊娠のわかった時期、特に医師の診察等による妊娠の確定した時期にケース群とコントロール群に差がある。特に第5～6週の早い時期に28.2%、40.2%と両者に差が見られる。さらに妊娠後の生活習慣を変えた時期を見ても、コントロール群のほうが早い時期から変えている。この時期が口唇裂の発生に関係する時期であることからさらに研究、調査を行っていきいたい項目のひとつである。

さらにケース群とコントロール群との間に差がみられるものに「家族や職場は協力的であったか」という設問があった。コントロール群の半数以上が協力的であったと答えたのに対してケース群は約3分の1強にとどまっており、精神的なものにしろ、肉体的なものにしろ両者の生活の間になんらかの差があったものと思われる。

喫煙習慣については特に有意差は見られなかった。妊娠に気づく前からの喫煙習慣はコントロール群が21.6%、ケース群が14.1%とむしろコントロール群の割合が高い。その1日当たりの喫煙本数もコントロール群の方が多い。さらに最終的に妊娠に気づいた後の喫煙習慣はケース群23名、コントロール群25名とほとんど差がない。このように今回の調査においては喫煙習慣のみを比較すると口唇口蓋裂児出生の危険因子であ

るという結果は得られなかった。しかし、緑黄色野菜の摂取量と喫煙習慣の間に興味深い関係が見られたことはすでに報告したとおりである。

この調査ではCLP全体で見ているが、今後5年程度の歳月をかけて症例を増やし1群100名程度として各裂型・性別ごとの詳しい分析を行って行きたいと考えている。また、このことが名古屋地域のものか否かについて確認するためにこの調査を拡大して全国13の大学で全国調査を企画している(表34)。また、海外からも同様の共同研究の依頼がきているのでこれらを進めて行く予定である。

最後に本調査に関してご協力賜りました母親の皆様、名古屋市守山・千種・名東・港区保健所および調査集計、解析を担当した住田成子・岩月麻里・梶山ちはる秘書に深謝致します。

表1 母親の年齢

	ケース	コントロール
20才未満	1 (0.3%)	3 (1.0%)
20～24才	53 (17.3%)	61 (19.9%)
25～30才	185 (60.5%)	158 (51.6%)
31～34才	49 (16.0%)	67 (21.9%)
35才以上	16 (5.2%)	17 (5.6%)
不明	2 (0.7%)	0
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表2 母親の体型

	ケース	コントロール
やせすぎ	38 (12.4%)	38 (12.4%)
やせぎみ	68 (22.2%)	80 (26.1%)
ふつう	155 (50.7%)	144 (47.1%)
ふとりぎみ	24 (7.8%)	28 (9.2%)
ふとりすぎ	19 (6.2%)	12 (3.9%)
不明	2 (0.7%)	4 (1.3%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

(S61年 厚生省保健医療局健康増進栄養課策定の肥満とやせの判定図による)

表3 母親の職業

	ケース	コントロール
専業主婦	157 (51.3%)	174 (56.9%)
内職	14 (4.6%)	6 (2.0%)
自営業	23 (7.5%)	16 (5.2%)
アルバイト	44 (14.4%)	46 (15.0%)
正社員	65 (21.2%)	60 (19.6%)
不明	3 (1.0%)	4 (1.3%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表4 母親の血液型

	ケース	コントロール
A	114 (37.2%)	115 (37.6%)
B	84 (27.5%)	67 (21.9%)
O	74 (24.2%)	98 (32.0%)
AB	34 (11.1%)	26 (8.5%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表5 子供の性別

	ケース	コントロール
男	157 (51.3%)	157 (51.3%)
女	149 (48.7%)	149 (48.7%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表6 子供の体重

	ケース	コントロール
男	3079.5g (±34.4)	3144.3g (±30.7)
女	3001.5g (±38.0)	3063.0g (±32.2)

上段 平均体重  
下段 (±SE)

表8 調査対象は何人目の子供か

	ケース	コントロール
1人目	132 (43.1%)	163 (53.3%)
2人目	116 (37.9%)	106 (34.6%)
3人目	50 (16.4%)	32 (10.5%)
4人目	6 (2.0%)	5 (1.6%)
5人目	1 (0.3%)	0
不明	1 (0.3%)	0
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表7 子供の出生月

	ケース	コントロール
1月	23 (7.5%)	0
2月	23 (7.5%)	81 (26.5%)
3月	19 (6.2%)	75 (24.5%)
4月	26 (8.5%)	40 (13.1%)
5月	23 (7.5%)	13 (4.2%)
6月	26 (8.5%)	0
7月	32 (10.5%)	0
8月	31 (10.1%)	2 (0.6%)
9月	21 (6.9%)	59 (19.3%)
10月	29 (9.5%)	36 (11.8%)
11月	26 (8.5%)	0
12月	26 (8.5%)	0
不明	1 (0.3%)	0
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表9 妊娠何週で出産したか

	ケース	コントロール
36週以下	13 (4.3%)	9 (2.9%)
37～38週	67 (21.9%)	86 (28.1%)
39～40週	162 (52.9%)	171 (55.9%)
41週以上	52 (17.0%)	36 (11.8%)
不明	12 (3.9%)	4 (1.3%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表11 妊娠に気付いた時期

	ケース	コントロール
5～6週	149 (48.7%)	182 (59.5%)
7～8週	75 (24.5%)	72 (23.5%)
9～10週	51 (16.7%)	36 (11.8%)
11～12週	4 (1.3%)	4 (1.3%)
13～14週	6 (2.0%)	1 (0.3%)
15～16週	0	3 (1.0%)
17～18週	0	0
19～20週	0	0
不明	21 (6.8%)	8 (2.6%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)



表10 先天的な病気の種類

	男	女
口唇裂	53	44
口唇口蓋裂	82	57
口蓋裂	22	48
合計	157	149

表13 妊娠して変えた生活習慣

	ケース	コントロール
食事	147	179
コーヒー	99	148
飲酒	55	114
規則的な生活	63	75
仕事	44	57
たばこ	32	55
その他	10	35
不明	70	28
全体	306	306

表12 医師の診察等で妊娠のわかった時期

	ケース	コントロール
5～6週	86 (28.2%)	123 (40.2%)
7～8週	84 (27.5%)	97 (31.7%)
9～10週	80 (26.1%)	58 (19.0%)
11～12週	15 (4.9%)	15 (4.9%)
13～14週	16 (5.2%)	5 (1.6%)
15～16週	5 (1.6%)	6 (2.0%)
17～18週	0	0
19～20週	0	0
不明	20 (6.5%)	2 (0.6%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表14 生活習慣を変えた時期

	ケース	コントロール
5～6週	52 (17.0%)	77 (25.2%)
7～8週	35 (11.4%)	59 (19.3%)
9～10週	58 (19.0%)	47 (15.4%)
11～12週	17 (5.6%)	22 (7.2%)
13～14週	17 (5.6%)	15 (4.9%)
15～16週	16 (5.2%)	31 (10.1%)
17～18週	0	0
19～20週	0	0
不明	111 (36.2%)	55 (17.9%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表15 家族や職場は協力的であったか

	ケース	コントロール
協力的だった	107 (35.0%)	165 (54.0%)
どちらかとい うと協力的	121 (39.5%)	106 (34.6%)
あまり協力的 でなかった	50 (16.3%)	27 (8.8%)
協力的でなか った	17 (5.6%)	5 (1.6%)
不明	11 (3.6%)	3 (1.0%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表16 妊娠初期にかかった病気

	ケース	コントロール
かからなかった	205 (67.0%)	232 (75.8%)
インフルエンザ	2 (0.7%)	1 (0.3%)
風邪	66 (21.6%)	60 (19.6%)
風疹	0	1 (0.3%)
麻疹	0	0
水痘	0	0
流行性耳下腺炎	0	0
その他	29 (9.5%)	7 (2.3%)
不明	14 (4.6%)	7 (2.3%)
全体	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表17 妊娠初期に飲んだ薬

	ケース	コントロール
飲まなかった	146 (47.7%)	198 (64.7%)
ビタミン剤	15 (4.9%)	11 (3.6%)
風邪薬	50 (16.3%)	38 (12.4%)
ホルモン剤	6 (2.0%)	2 (0.7%)
栄養剤	13 (4.2%)	2 (0.7%)
胃腸薬	22 (7.2%)	20 (6.5%)
鎮痛剤	13 (4.2%)	10 (3.3%)
貧血の薬	18 (5.9%)	11 (3.6%)
つわりの薬	19 (6.2%)	11 (3.6%)
睡眠鎮静剤	0	1 (0.3%)
その他	48 (15.7%)	31 (10.1%)
不明	14 (4.6%)	3 (1.0%)
全体	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表18 妊娠に気付く前の飲酒

	ケース	コントロール
ほとんど飲ま なかった	236 (77.2%)	199 (65.1%)
週に1~2回 飲んだ	40 (13.1%)	53 (17.3%)
週に3~4回 飲んだ	13 (4.2%)	27 (8.8%)
週に5~6回 飲んだ	8 (2.6%)	23 (7.5%)
不明	9 (2.9%)	4 (1.3%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表20 妊娠初期のコーヒーの習慣

	ケース	コントロール
ほとんど飲ま なかった	159 (51.9%)	131 (42.8%)
週に1~2回 飲んだ	126 (41.2%)	141 (46.1%)
週に3~4回 飲んだ	14 (4.6%)	24 (7.8%)
週に5~6回 飲んだ	3 (1.0%)	6 (2.0%)
不明	4 (1.3%)	4 (1.3%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表19 妊娠に気付いた後の飲酒

	ケース	コントロール
ほとんど飲ま なかった	274 (89.6%)	261 (85.3%)
週に1~2回 飲んだ	20 (6.5%)	31 (10.1%)
週に3~4回 飲んだ	1 (0.3%)	7 (2.3%)
週に5~6回 飲んだ	2 (0.7%)	3 (1.0%)
不明	9 (2.9%)	4 (1.3%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表21 その後のコーヒーの習慣

	ケース	コントロール
ほとんど飲ま なかった	183 (59.8%)	165 (53.9%)
週に1~2回 飲んだ	110 (36.0%)	129 (42.2%)
週に3~4回 飲んだ	9 (2.9%)	7 (2.3%)
週に5~6回 飲んだ	0	2 (0.6%)
不明	4 (1.3%)	3 (1.0%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表 2 2 生活は規則的か

	ケース	コントロール
規則的	90 (29.4%)	86 (28.1%)
どちらかとい うと規則的	163 (53.3%)	164 (53.6%)
どちらかとい うと不規則	33 (10.8%)	45 (14.7%)
不規則	15 (4.9%)	10 (3.3%)
不明	5 (1.6%)	1 (0.3%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表 2 3 野菜の好き嫌い

	ケース	コントロール
好き	209 (68.4%)	201 (65.8%)
どちらかとい うと好き	77 (25.2%)	83 (27.1%)
どちらかとい うときらい	16 (5.2%)	18 (5.9%)
きらい	2 (0.6%)	2 (0.6%)
不明	2 (0.6%)	2 (0.6%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表 2 4 油料理の好き嫌い

	ケース	コントロール
好き	124 (40.5%)	132 (43.1%)
どちらかとい うと好き	148 (48.4%)	142 (46.5%)
どちらかとい うときらい	33 (10.8%)	30 (9.8%)
きらい	0	1 (0.3%)
不明	1 (0.3%)	1 (0.3%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表 2 5 料理の味付けの好み

	ケース	コントロール
薄味が好き	40 (13.1%)	42 (13.7%)
どちらかとい うと薄味	115 (37.6%)	126 (41.2%)
どちらかとい うと濃い味	136 (44.4%)	129 (42.2%)
濃い味が好き	14 (4.6%)	9 (2.9%)
不明	1 (0.3%)	0
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表 2 6 妊娠に気付く前の喫煙習慣

	ケース	コントロール
吸わなかった	260 (85.0%)	238 (77.8%)
吸った	43 (14.1%)	66 (21.6%)
不明	3 (1.0%)	2 (0.7%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表27 1日当たりの喫煙本数

	ケース	コントロール
1～10本	29 (67.4%)	24 (36.4%)
11～20本	11 (25.6%)	35 (53.0%)
21～30本	2 (4.7%)	5 (7.6%)
31本～	1 (2.3%)	1 (1.5%)
不明	0	1 (1.5%)
合計	43 (100.0%)	66 (100.0%)

表28 妊娠に気付いた後の喫煙習慣

	ケース	コントロール
吸わなかった	19 (44.2%)	40 (60.6%)
吸った	23 (53.5%)	25 (37.9%)
不明	1 (2.3%)	1 (1.5%)
合計	43 (100.0%)	66 (100.0%)

表29 気付いた後の1日の喫煙本数

	ケース	コントロール
1～10本	22 (75.9%)	19 (70.4%)
11～20本	3 (10.3%)	1 (3.7%)
21～30本	0	3 (11.1%)
31本～	0	0
不明	4 (13.8%)	4 (14.8%)
合計	29 (100.0%)	27 (100.0%)

表30 配偶者の喫煙習慣

	ケース	コントロール
吸わない	90 (29.4%)	104 (34.0%)
吸っていた	210 (68.6%)	201 (65.7%)
不明	6 (2.0%)	1 (0.3%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表31 配偶者の1日の喫煙本数

	ケース	コントロール
1～10本	36 (17.1%)	34 (16.9%)
11～20本	93 (44.3%)	96 (47.8%)
21～30本	49 (23.3%)	31 (15.4%)
31本～	22 (10.5%)	29 (14.4%)
不明	10 (4.8%)	11 (5.5%)
合計	210 (100.0%)	201 (100.0%)

表32 配偶者の飲酒習慣

	ケース	コントロール
ほとんど飲まない	105 (34.3%)	75 (24.5%)
週に1～2回飲む	47 (15.4%)	52 (17.0%)
週に3～4回飲む	42 (13.7%)	33 (10.8%)
週に5～6回飲む	109 (35.6%)	142 (46.4%)
不明	3 (1.0%)	4 (1.3%)
合計	306 (100.0%)	306

表33 親族内の口唇、口蓋裂の有無

	ケース	コントロール
はい	47 (15.4%)	5 (1.6%)
いいえ	258 (84.3%)	299 (97.7%)
不明	1 (0.3%)	2 (0.7%)
合計	306 (100.0%)	306 (100.0%)

表34 研究大学一覧表

1	札幌医科大学口腔外科学講座
2	東北大学歯学部口腔外科学第2講座
3	新潟大学歯学部口腔外科学第2講座
4	東京医科歯科大学歯学部第2口腔外科
5	東京歯科大学口腔外科学第2講座
6	九州大学歯学部第1口腔外科
7	大阪大学歯学部口腔外科学第1講座
8	島根医科大学医学部 歯科口腔外科学講座
9	佐賀医科大学歯科口腔外科学教室
10	大分医科大学医学部 歯科口腔外科学教室
11	鹿児島大学歯学部口腔外科学教室
12	琉球大学医学部歯科口腔外科学教室
13	愛知学院大学歯学部 口腔外科学第2講座



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:口唇口蓋裂発生には、遺伝的要因の他に母体環境が大きく関与していることが知られており、我々もこれまでに種々の疫学調査を行って来た。その一つとして一定期間に出生した口唇口蓋裂の患者の母親と同一地域で同時期に健常児を出生した母親を対照例にくつかの項目について症例対照研究を行った。緑黄色野菜の嗜好、乳製品の嗜好、それらと喫煙の習慣との関連はすでに報告したとおりであり、口唇口蓋裂児出生の危険因子となりうる可能性を示唆したが、今回は他の項目についてその結果を報告する。